

予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算 支出科目 款：民生費 項：社会福祉費 目：障害福祉費

事業名 **新**全国障害者芸術・文化祭開催準備事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部 障害福祉課 社会参加推進係 電話番号：058-272-1111 (内 2613)

E-mail：c11226@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 3,835 千円 (前年度予算額：0 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	3,835	0	0	0	0	0	0	0	3,835
決定額	2,000	0	0	0	0	0	0	0	2,000

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

全国障害者芸術・文化祭は、障がいのある人の芸術や文化活動への社会参加を通じて、障がいに対する国民及び県民の理解と認識を深めることを目的とした祭典。同祭典は各種の文化活動を全国規模で発表・共演・交流する場である「国民文化祭」を開催する都道府県において同年度に合わせて行われることとされており、「国民文化祭」は、令和6年度に岐阜県での開催（第39回国民文化祭・ぎふ2024（仮称））が内定している。

については、開催3年前となる令和3年度は、「国民文化祭、全国障害者芸術・文化祭」の基本方針、名称、テーマ、会期等を盛り込んだ基本構想を策定する必要がある。

(2) 事業内容

○基本構想の策定

県内関係者及び学識有識者等により構成する基本構想検討会議を設置し、大会の基本的な考え方や概要を定める基本構想を策定する。

○実行委員会の設置

大会開催に向けて、市町村や関係団体等で構成する実行委員会を設置し、

基本構想の承認や実施計画の策定に向けた準備を進める。
○関係団体との調整や先催県の大会視察など開催準備に係る検討

(3) 県負担・補助率の考え方

県 10/10

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
旅費	3,609	職員業務旅費
需用費	60	消耗品費（事務用品等）、会議費
役務費	116	会議室使用料等
使用料及び賃借料	50	電話代、郵送代
合計	3,835	

決定額の考え方

事業内容を精査し、所要額を計上します。

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

「清流の国ぎふ創生総合戦略」の[1 「清流の国ぎふ」を支える人づくり]－[(2)誰もが活躍できる社会]－[②障がいのある人もない人も共に生き活躍できる社会の確立]

(2) 国・他県の状況

R3(2021)年度開催：宮崎県^(※)、和歌山県

R4(2022)年度開催：沖縄県

R5(2023)年度開催：石川県

(※)R2(2020)年度開催予定であったものが新型コロナウイルスの影響により延期

(3) 後年度の財政負担

無

(4) 事業主体及びその妥当性

全国障害者芸術・文化祭の主催者は、文化庁、開催都道府県、開催市町村及び文化団体等となる

事業評価調書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

令和6年度に本県で全国障害者芸術・文化祭を開催することによって、障がい者の芸術や文化活動への社会参加を促進し、生きがいや自信を創出するとともに、障害に対する県民の理解と認識を深めることを狙いとする。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前	指標の推移		現在値	目標	達成率
				(前々年度末時点)		
	(H)	(H)	(H)	(H)	(H)	%
	(H)	(H)	(H)	(H)	(H)	%

○指標を設定することができない場合の理由

令和3年度は開催に向けての調査視察や基本構想策定等の準備事業であるため、指標の設定は困難。

（前年度の取組）

（前年度の成果）

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い △：必要性が低い 	
(評価) ○	障がい者が文化芸術活動に参加する機会の創出及び、障がい者の作品展示や舞台芸術を多くの国民及び県民に観てもらふことにより、障がいへの理解につながる。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおりまたはそれ以上の成果が得られている △：まだ期待どおりの成果が得られていない 	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている △：向上の余地がある 	
(評価)	

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業が直面する課題や改善が必要な事項 大会の周知や大会開催の機運醸成を図っていく必要がある。

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか。 大会の成功に向けて、市町村や障がい者団体、事業所等の関係機関との連携を密にしながら、「県民総参加によるオール岐阜の文化祭」となるよう、準備を進めていく。
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	
組み合わせる理由や期待する効果 など	